

札幌社保協 FAXニュース

2009年 6月18日(木)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

札幌社保協総会
は6/25です

税金、国保・介護・後期高齢者保険料

相談活動に取り組もう！

札幌では住民税に続いて国保・介護・後期高齢者保険料の通知が17日頃から送付が始まり、各家庭に届き始めています。札幌の国保料は今年度変更なしが少し下がるものになっていますが、一定の収入以上の人は引き上げられます。一方後期高齢者はころころ変わっているため、分からない人が多いと予想されます。

全市の国保・介護110番は6/25に行われますが、北区社保協は24日に特別相談会を開催します。守る会も各区で相談会を行います。厚別では9500枚のピラを配布し20・21日に相談会、東区も21日、手稲区18・19日、清田区19日に相談会などです。

各区、団体でも相談活動を広げましょう。



札幌社保協と国保・介護110番連絡会は6/9に「負担増に対抗する学習決起集会」を開催し、地域・各団体から52人が参加しました。佐藤宏和道生連事務局長が09年度国保・介護保険料はどうかと減免について、三浦誠一道生連会長が保険料の滞納処分・差押さえが強まっている中で、どのようにたたかうべきかを報告しました。木幡秀男勤医協在宅東副センター長は、介護報酬の引き上げが利用者と事業者にどのような影響が出ているか、新たな介護認定方法が実態を無視したものであることを報告、斉藤浩司札幌社保協事務局長は後期高齢者医療制度が今年度からどこがどう変わったのか、不服審査請求についてなどを報告しました。

参加者からの質問と応答が行われましたが、新介護認定では「片足で1秒立てたら、できると判定」などという例を聞き、余りにも実態を無視したやり方に驚きの声が出ていました。

一番怖いのは、部活が続けられなくなるから 高校を選んだ理由は、兄の制服が使えるから 一考えよう！子どもの貧困



生存権裁判を支援する会、道教組、高教組、道社保協の共催による「考えよう！子どもの貧困」が6/13に開かれ、全道から170人が参加しました。

シンポでは保育園、高校、医療現場、母子世帯の代表が、それぞれ子どもをめぐる貧困の悪化を事例を通して報告しました。自らも母子世帯の清水さんは、子どもさんの修学旅行や高校進学をめぐる葛藤や、母子世帯が経済的な困窮を強いられている状況などを述べました。

フロアから発言した中学の養護教諭は、修学旅行に行けない生徒、就学援助で道具があってもリフト代などがかかるのでスキー授業を欠席する生徒など、中学生に広がっている貧困の実態を報告しました。

「後期高齢者医療制度」廃止に！不服審査請求をしましょう！

保険料の支払は自分で決めさせて！-不服審査請求

そろそろ後期高齢者医療保険料の通知も届く頃です。「後期高齢者医療制度に怒る道民の会」では、不服審査請求を昨年に引き続き行います。各団体・地域で当事者に声をかけてください。

6.15各地で年金支給日宣伝

年金支給日の6月15日には、各地で年金者組合を中心に宣伝が取り組まれました。

白石では地下鉄菊水駅で年金者組合・新婦人の支部が共同で、後期高齢者医療の廃止などを訴えて宣伝と署名を行いました。

